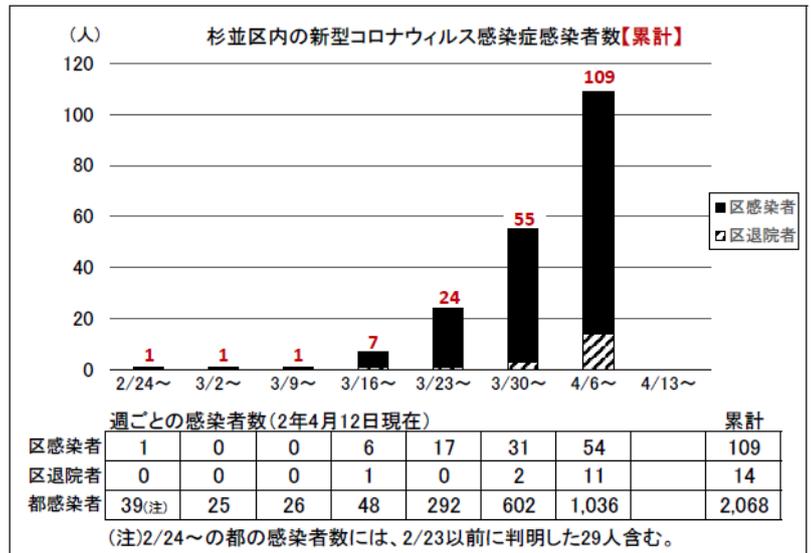




杉並区長記者会見

新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算案

これまで区では、イベントの中止や学校・区立施設の休業など、感染拡大防止のための様々な取組を行ってききましたが、3月19日を境に区民の感染者数は急激に増加し、4月12日現在、109人にまで拡大しています。特に、直近の4月6日から昨日までの一週間では、過去最高となる54人の感染者が確認されました。こうした状況の中で、早急に対



応が求められる地域医療の崩壊防止や、中小企業の支援の充実などに要する経費を補正予算案に計上し、4月20日の区議会臨時会に提出します。

令和2年度杉並区一般会計補正予算案(第1号)

補正事業	6事業
補正予算額	24億7,864万4千円

一般会計予算規模

(単位:千円)

	予算額	特定財源		一般財源
		国・都支出金	その他	
補正前の額	193,796,000	45,943,453	16,752,808	131,099,739
補正額	2,478,644	0	2,691	2,475,953
補正後の額	196,274,644	45,943,453	16,755,499	133,575,692

令和2年度杉並区一般会計補正予算案(第1号)の概要

1 入院病床拡充・「(仮称)発熱外来センター」の設置等

22億7,960万円

■入院病床拡充・「(仮称)発熱外来センター」の設置等に伴う区内医療機関への包括補助

区内基幹病院が新型コロナウイルスの患者を受け入れるための病床の増設や、「(仮称)発熱外来センター」の設置などを行うための経費を、病院経営への影響を踏まえて包括的に補助します。

(1)入院・外来体制強化補助事業 22億2,900万円

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによって他の診療・入院の受入縮小を余儀なくされることなどによる収入の減少に加え、病床増設や「(仮称)発熱外来センター」(→次ページ参照)の設置などによる支出の増加の影響による減収が見込まれ、その減収となる収入額と、過去3年の平時における収入の平均額との差額相当分(4月～6月)を助成。

- ・対象 河北総合病院、荻窪病院、佼成病院、東京衛生アドベンチスト病院
- ・補助額 1病院につき、月額約1億2,800万円から約2億8,000万円まで(試算)

※国・東京都から、新型コロナウイルス感染症患者受入に伴う運営経費について、確保した病床1床当たり16,190円/日が直接補助される予定です。

(2)医師確保支援事業 5,060万円

(仮称)発熱外来センターの医師を確保するため、同センターに派遣される開業医の診療所1所に対し、年末年始の休日夜間診療と同額となる1日当たり16万130円(4月～6月)を支払います。

- ・補助額 派遣元の診療所一所に対し、日額16万130円(8時間勤務)

※東京都からは、センター設置に伴う医師、看護師の確保のため、医師1人につき31,700円/日、看護師一人につき10,900円/日が直接補助される予定です。

※(仮称)発熱外来センター

区内基幹病院に新たに設置する新型コロナウイルス感染症患者専用の外来診療スペース。基幹病院がこれまでの診療で蓄積されたノウハウを生かしながら、医師会の開業医がローテーションで診療を行う。

新型コロナウイルスの感染疑いがある患者を診療するためには、他の患者との動線・空間の分離や患者ごとの防護服の着脱が必要となり、小規模・少人数で運営している多くの開業医においてそうした対応を取ることは難しい。開業医で診療する機能を(仮称)発熱外来センターとして“集約”することで、基幹病院の診療体制を強化し、かつ、開業医が院内感染のリスクを低減しながら一般の診療に専念する環境を整備できる。



【問い合わせ先】健康推進課 3391-1355

■医療従事者等の保育園の受け入れ

保育園に子どもを預けて勤務する医療従事者の子どもの登園が拒否されるケースがあるとの訴えを受け、医療従事者が居住地の保育園で拒否された場合は区内の保育園の空き枠で受け入れる体制を整備します。

【問い合わせ先】保育課 内線 1371

2 感染症対策に係るマスク等の購入

1億5,678万5千円

区では、杉並区業務継続計画「新型インフルエンザ等編」に基づき、マスク・手指消毒剤を計画的に備蓄してきました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでに窓口対応職員及び介助等で施設利用者等と密接に接触する職員を対象に約26万枚を配布しました。また、区内医療機関のマスク不足に対応するため6万5千枚を提供しました。

感染症のさらなる拡大及び長期化も想定し、合計300万枚のマスク及び手指消毒剤、防護服等を新たに備蓄します。

■区職員・区立施設等用 8,351万円

項目	個数	総額
マスク（常勤・会計年度任用職員等）	150万枚	6,750万円
手指消毒剤（区民利用施設等）	1リットル入り 5,000本 500ミリリットル 600本	894万3千円
非接触型体温計	427本	187万9千円
防護服	1,800セット	518万8千円

■区内医療機関・福祉施設用 7,327万5千円

項目	個数	総額
マスク	150万枚	6,750万円
手指消毒剤	500ミリリットル 5,000本	577万5千円

【問い合わせ先】危機管理対策課 内線 1581

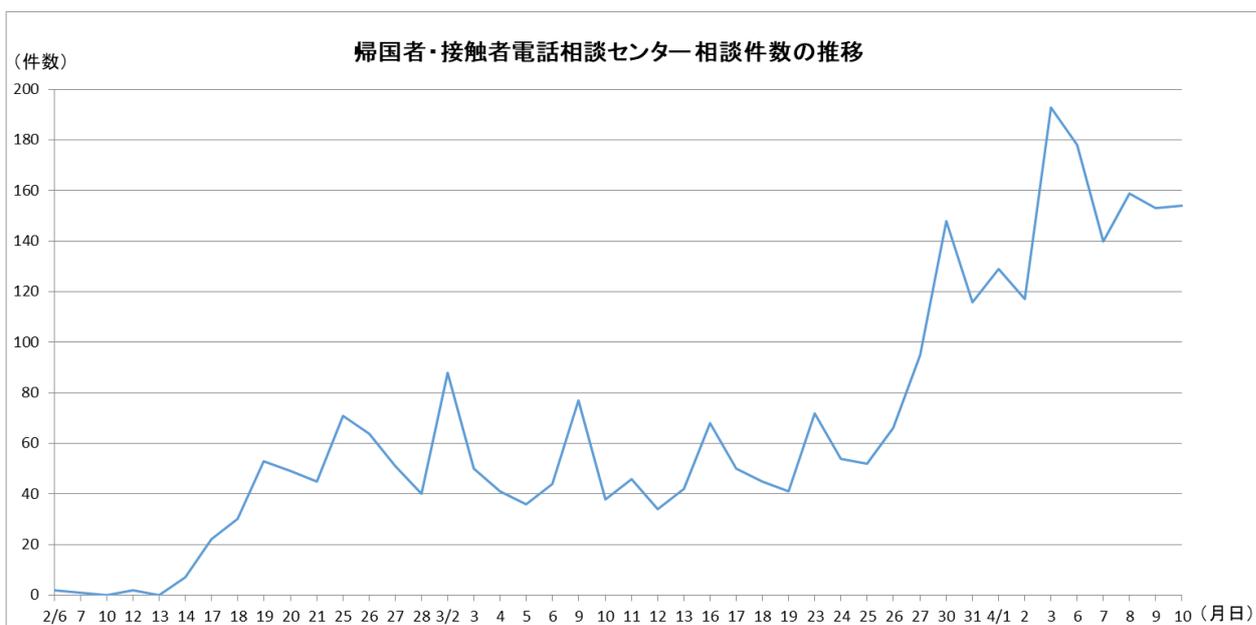
保健福祉部管理課 内線 3071

3 帰国者・接触者電話相談センターの拡充及び自宅待機者への支援

2,842万6千円

■帰国者・接触者電話相談センター拡充 2,738万7千円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、杉並区帰国者・接触者電話相談センターへの相談件数は2月の437件から3月は1,309件と増加し、4月に入ってから1日平均約150件となっています。この状況に対応するため、電話回線を3回線から10回線に拡大し、現行の同センターの人員（3名程度）に13名（委託10名、常勤・非常勤3名）を増員します。



■自宅待機者の健康観察用バイタルナビ購入に係る経費 103万9千円

軽症で自宅待機している区民に貸し出すための、血中の酸素濃度を測定する機械「パルスオキシメーター」100個を購入します。

【問い合わせ先】健康推進課 3391-1355

保健予防課 3391-1025

4 商工相談体制の拡充

664万3千円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い急増^{*}している特別融資相談に迅速な対応を図るため、商工相談体制を拡充することとし、必要な経費を補正予算案に計上します。また、ゴールデンウィーク中（4/29、5/4～6の4日間）も相談窓口を開設します。

※本年4月の相談件数は、1日当たり60件以上（前年同月比約7倍）、電話件数は1日当たり100件以上（前年同月比約15倍）。

■中小企業診断士の増員(令和2年6月1日まで) 588万2千円

専門的な見地から融資相談に対応する中小企業診断士について、これまでの6名から9名に増員し、1日当たり約90件の相談に対応できる体制を整えます。

■職員の増員等 76万1千円

特別融資に係る電話対応や提出書類の事前確認等を行う職員を5名程度増員（応援体制による常勤職員3名程度及び新規雇用による会計年度任用職員2名程度）することとともに、電話機の増設等を行います。

【問い合わせ先】産業振興センター 事業担当課 5347-9077

5 発注済み給食食材費の補てん

358万8千円

（特定財源:諸収入269万1千円）

区立学校の臨時休業に伴う給食休止により、給食食材納入事業者に対して、既に発注していた食材に係る費用の補てん経費を計上します。

※学校臨時休業対策費補助金（補助率3/4想定）269万1千円を諸収入として計上。

※補助金対象期間：令和2年3月2日から春季休業の開始日の前日まで

【問い合わせ先】学務課 内線 1621

6 区職員への特殊勤務手当の支給

360万円

新型コロナウイルス感染者受入先等において、区民等の生命及び健康を保護するために緊急に行われた措置に係る一定の業務について、日額4,000円を超えない範囲内で、特例の防疫等業務手当を支給します。

【問い合わせ先】 職員厚生担当 内線 1512

<連絡先>

杉並区役所 03-3312-2111 (代表)

広報課直通 03-3312-6855